

東電、電事連、規制委へ「申し入れ」

第33回全国総会・交流集會に参加した原住連代表らは二月十七日午前、東京電力、電気事業連合会、午後には参院議員会館で原子力規制委員会に「申し入れ」にもとづく交渉を行った。



東電(向こう側)と交渉する原住連代表(手前側)

東京電力

東電交渉は十七日午前九時三十分から東電・幸ビルで行われた。東電からは井口誠一原子力センター所長、原一郎、鈴木聡博、佐藤剛の四氏が対応。原住連から十一人が参加した。



電事連(右側)と交渉する原住連代表ら(左側)

東電は前々回から申し入れの各項目の細目ごとに文書回答していたが、今回は細目の回答はなく各項目ごとの概略回答と大きく後退を求めた。

電気事業連合会

した回答であった。事故十年目を迎えて、事故はなかったとする対応となっており、原住連代表一同は抗議した。同日午前十一時から経団連会館の電事連面会室で行われた。電事連側からは三人が対応。原住連代表十人が参加した。冒頭、会議室を予定したが、都合でだめになり、また狭い面会室となったことを詫言った。

回答は原子力事業者の反省がないもの。原子力災害の加害者の立場をわきまえて、電事連こそ原発固執をやめ、再エネ転換の先頭に立つことを求めた。

原子力規制委員会

第33回全国総会・交流集會での発言者と主な内容

- ① 幌延新地層研究の延長問題
- ② 原発ゼロをめざす福井と関西の運動
- ③ 東京電力への申し入れ
- ④ 「合格」目前の女川原発 再稼働ストップ
- ⑤ 二十生連転延長の川内原発
- ⑥ 関電原発マネー還流の実相
- ⑦ 核廃棄物についての問題提起
- ⑧ 特別発言 新潟県の「三つの検証」を求める運動

- 姫利利融(北海道)
- 林 広員(福井)
- 持田繁義(新潟)
- 中嶋 廉(宮城)
- 井上勝博(鹿児島)
- 山本雅彦(福井)
- 谷崎嘉治(青森)
- 立石雅昭(新潟)



「申し入れ」に答える規制委のメンバー

規制委交渉は同日二時から参院議員会館で行われた。回答は、規制よりも推進に見えるものが多かった。原住連は、規制委の立場の確立を求めた。

新代表委員(敬称略)

筆頭代表委員(幹事)

伊東達也(福島)

代表委員(幹事)

早川篤雄(福島)
立石雅昭(新潟)
持田繁義(新潟)
柳町秀一(埼玉)

代表委員

米谷道保(北海道)
谷崎嘉治(青森)
中嶋 廉(宮城)
大川正治(群馬)
小林栄次(茨城)
野村存生(東京)
安部慎二(東京)
児玉一八(石川)
林 広員(福井)
唐沢裕史(静岡)
岡村哲志(静岡)
出馬益子(三重)
橋本武人(和歌山)
芹沢芳郎(大阪)
和田 幸(愛媛)
井上勝博(鹿児島)
長坂圭造(自治労連)
木下興(民医連)

*団体加盟の全教からも代表委員の推薦を受けることを確認

〇名誉代表委員 藤巻泰勇(新潟) 中村敏夫(茨城)